

対象とする技術概要

協調領域

協調的部分(標準化・規格化等)

競争領域(地図ベンダー等)

競争領域(自動車会社等)

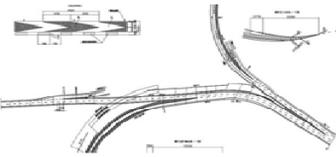
(1)元データ提供(収集)の仕組み

渋滞情報
事故発生中情報
路面情報
通行規制情報
標識情報

国、道路会社、警察、自治体
関係機関

道路の詳細図(道路構造データ)

高速道路



国道



県道、市町村道

国、道路会社、自治体



民間

(2)データの構造化

a. 収集データを紐付き
維持管理する仕組み

基盤となる
構造化データ

例



- データ形式の変換と一元化
- 網羅性、鮮度の確保

- 提供可能なデータ形式
- リアルタイム性

- 標準フォーマット

b. 自動走行で利用しやすい仕組み

基盤となる
構造化データ

地図ベンダーA

情報共有

基盤となる
構造化データ

地図ベンダーB

(3)自動車からの利用の仕組み

車両収集情報
(プローブ、画像他)



A社自動走行センター



A社自動走行車両

車両収集情報
(プローブ、画像他)



B社自動走行センター



B社自動走行車両

